

小さいスペースが道のようにつらなる 屋上広場

イベント利用・日常利用の両方に対応しやすい、空間変化に富んだ、小規模なスペースが連続するSTREET PARK
特徴的な外観は、駅前の顔・シンボルとなる。

【真上から見た屋上広場デザイン】



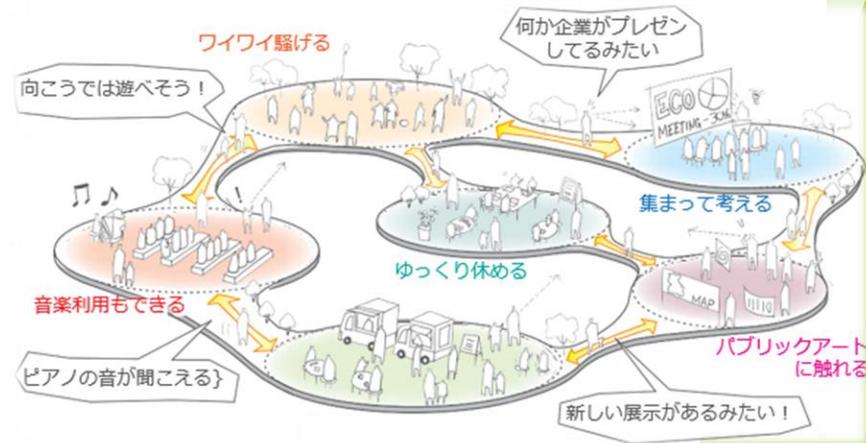
▶ 親子でもゆっくりくつろげる

- ▶ 4Fへ上がれば、座ったり、寝転んだり、駅前通りを見下ろしたり、ちょっとしたイベントも開催できる。



▶ 憩いも、賑わいも

- ▶ 広場が施設全体に展開され、それらが道のように立体的につながる。
- ▶ 日常を過ごすちょっとした空間にも、非日常を楽しむ賑わいの空間にもなる。



大屋根広場(大屋根部分)や屋上広場アプローチ等の形状変更

検討のポイント

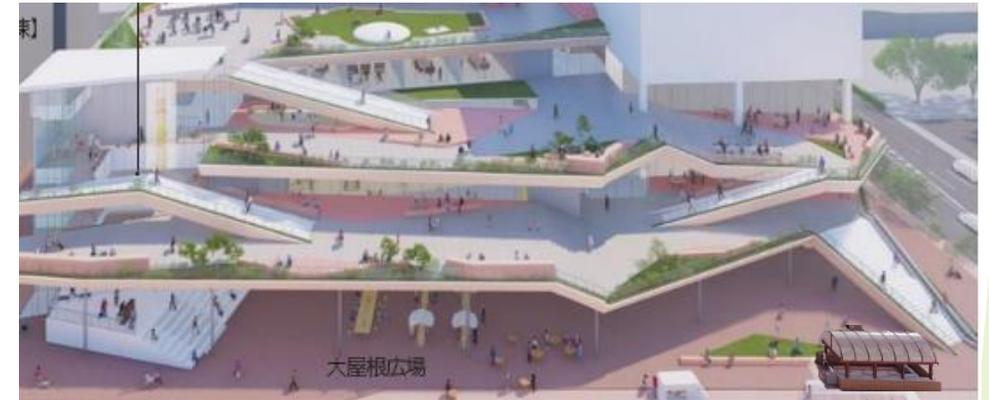
- ①広場の空間を無駄なく効率的に利用できるレイアウト
- ②高さのある屋上広場への階段昇降をなだらかに
- ③大屋根広場で実施するイベントを具体的に想定
- ④将来のペDESTリアンデッキ接続を見越した形状

検討を踏まえ

- ①大屋根広場の北西角部分のエリアを、屋根下(高さ約6.5m)では実施が難しい、より高さの必要な展示やパフォーマンス等に活用できるスペースへ
- ②将来のペDESTリアンデッキ接続を想定し、地上から2階への通行の利便性向上を図るため、屋外エスカレーター(※)を設置

※ 屋外エスカレーターは防水性能等を高める必要があり一般的に費用が高い。一台約1~2.5億円かかる見込みで全体事業費を考慮しながら最終的に設置を判断する予定。
なお、屋上広場へのアクセスは、施設内のエスカレーターやエレベーターにより利用者の動線を確保。

[before]



[after]



▶ イメージパース 大屋根広場と屋上広場の外観



大屋根広場

▶ イメージパース 屋上広場から駅前広場方向を見下ろす

